

## 雲南市ブランド米「プレミアムつや姫 たたら焔米」について

昨年から検討して参りました、雲南市ブランド米「プレミアムつや姫」について、この秋からの販売開始に向け準備をすすめておりますので、その概要を説明します。

### 1. 名称及びパッケージデザインの決定

消費者が品種の判別がすぐに行えること、「出雲國たたら風土記」が日本遺産認定され全国に発信する雲南市の象徴であり、注目を浴びている適時であることから「つや姫」「たたら」「雲南市」を含む名称、パッケージを基本に決定をいたしました。

たたらの炉から、炎のように最高級の稲穂が吹き出すイメージのデザインとなっております。

名称・名称マークデザイン：別添資料1

### 2. 取り組みの経過

#### (1) 背景

近年の米価低迷、さらにTPPの影響による海外から安い米が流入し国産の米価下落が今後予想され、これに伴い水田農家が減り荒廃農地が拡大することなどが懸念されます。

また、これまで通りの米づくりでは、稲作経営についても立ち行かなくなると考えられることから、将来的に農地の維持や米生産農家の生き残りを図るため、消費者が認める売れる米づくりとして、安全で安心な良質米生産「ブランド米」の取り組みが急務であると言えます。

#### (2) 推進体制

島根県、JAしまね雲南地区本部及び担い手農家が連携する雲南市農業再生協議会、雲南市農林振興協議会において提起、検討を行い、作付けは市内の担い手農家が組織する「雲南市水田農業担い手協議会（H27.11.28設立）」を中心に取り組んでいます。

#### (3) 具体的な取り組み

##### ①選定品種：「つや姫」

今回、特別栽培米である「つや姫」を雲南市のブランド米「プレミアムつや姫」として取り組む背景は、品種特性として雲南市の立地条件が山間地から平場までの水田において、温暖地域栽培にも適しており、倒伏しにくく栽培しやすい品種であること、また、市内でこの「つや姫」が4年前から栽培されている状況において、全体的に米の品質が安定していることから品種選定しています。

そして、日本穀物検定協会の米の食味ランキングにおいて、平成26年・27年産米の島根県「つや姫」が「特A」の評価を取得し、全国的に注目され需要が高まっており、島根県においても増産に向けた取り組み

が始まったところであり、普及推進を図る品種として適していることなどが理由となっています。

## ②品質管理

既にブランドに位置づけられる品種「つや姫」を、さらに条件付けしプレミアム米として扱います。

- ・品質、収量改善のために定めた土壌改良材の投入
- ・1. 9mmふるい目による選別
- ・食味（タンパク値）による仕分け検査

雲南市「プレミアムつや姫」栽培要項：別添資料2

## 3. 雲南市の支援内容

農家がこの特別栽培米基準での「プレミアムつや姫」栽培に取り組むメリットとして、JA買取価格（8,000円/袋・30kg）を提示し、稲作経営の安定化を図るとともに、取り組み経費支援についても行います。

なお、雲南市の「プレミアムつや姫」がブランド米として消費者に認識され定着させていくためには、単年ではなく、ある程度長期的な取り組みを予定しています。

### （1）取組経費補助

- ・指定土壌改良剤利用に対する1/2補助（H27年度～）
- ・ふるい目導入に対する定額1万円補助（H27年度～）

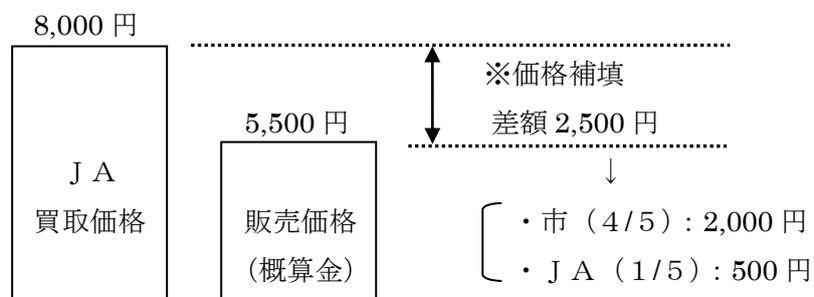
### （2）買取り価格補助

- ・作付け条件及びブランド米としての出荷条件をクリアしたものに対して、JAの買取り予定価格（8千円）とJA販売流通価格との差額に対して一定の割合（定率：4/5）で支援します。（新規事業）

また、補助手続きについては、当年度に米の概算金との差額に対して概算払いを行い、販売価格が確定する翌年度において精算処理を行うこととします。

※（例）H27年産「つや姫」の概算金：5,500円/袋・30kg

\*買取価格8,000円/袋・30kgとした場合、差額2,500円を支援（市・JA）



\*これは、H27年産米の概算金により、補填額を算出したものであり、H28年産米の販売額変動により、補填額も変動する。

#### 4. 作付状況

市内作付面積 39ha

地域別内訳

大東：9.9 加茂：15.8 木次：2.6 三刀屋：3.3

吉田：1.9 掛合：4.9

推進体制

市内の担い手農家が組織する「雲南市水田農業担い手協議会（H27.11.28設立）」を中心に栽培講習会開催、品質管理の徹底

#### 5. 今後のスケジュール

9月上旬～下旬

作付けほ場刈取り作業（各農家）

9月18日 8:30～9:10

プレミアムつや姫認定検査

・市長、地区本部長同席により、JA大東米倉庫において認定検査

⇒プレミアムつや姫として認定するタンパク値検査

9月中下旬～

販売開始



島根県  
雲南市

プレミアムつや姫  
たたら**焰**米  
TATARA HOMURAMAI

稲作とたたら

古来より「稲作」と「たたら」は密接な関係を守ってきた。奥地の小高い里山は鉄穴流し(かんながし)によって平地が出現し、やがて稲田となっていく。



稲荷神社の  
守護神

豊作を司る稲荷神社の守護獣は「狐」。たたら神が従えるのも白狐とともに深い因縁を表す。



焰 | ほむら |

鉄に命を吹き込む  
たたらのはの炎です。



豊かな自然

その他、大自然を象徴する「太陽」「雲」「山」を取り囲み集合体として表現する。



# たたらと稲作の融合

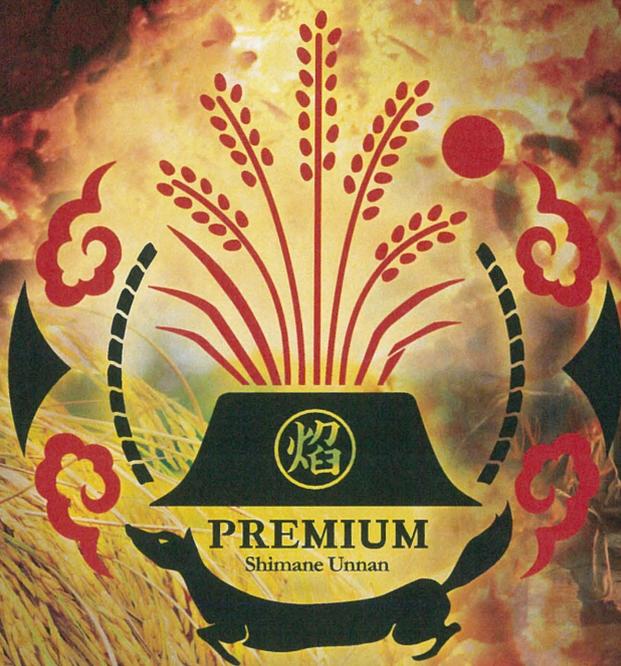
優れた品質の砂鉄と

豊かな森に包まれた山里は

たたらへの聖地であり、稲作の王国です。

炭焼きや手すき和紙など、

昔ながらの手づくりの匠が息づく雲南。



プレミアムつや姫

たたら焔米

その気温差の  
大きい山間地の  
贅沢な自然の恩恵を受けながら  
心を込めた米づくりで生まれた  
最高級のお米をどうぞ。

## プレミアムの条件

一

鉄分を多く含んだ  
専用肥料による土作り

二

大粒選別による、  
こだわりの調製

三

一等米であり、  
タンパク値が  
基準を満たしている

## 雲南市「プレミアムつや姫」 栽培要項

区分	栽培要項
栽培資格 栽培要件	島根県エコファーマーの認定を受け、面積要件として <b>30a 以上の作付を行い JA しまね雲南地区本部の定める特別栽培米基準に基づき、適切な栽培管理を実施し、栽培の適正管理・記録</b> を行う。(営農計画書・細目書と整合すること)
栽培目標	土づくりを基本とし、健苗育成、適正防除・施肥・水管理などを徹底し、健康な稲作りを行う。また、収量を第一とせず、品質及び食味の向上に重点を置く。
生産圃場	雑草多発田・いもち病・紋枯病・カメムシ類等の病害虫常発圃場での栽培を避ける。
土づくり	粗大有機物は完熟堆肥を 1.0t (10a 当り) 程度施用する。稲わらは必ず腐熟促進を図る。 品質、食味向上、収量改善のため、プレミアムつや姫栽培暦に基づき <b>全農鉄入り BB 土づくり肥料 (80 kg/10a 当り)</b> を施用し、稲体の健全化を図る。 なお、深耕は 18cm 以上を目安とする。
施肥	肥料は、つや姫栽培暦に基づき有機質肥料を使用し、施肥量は化学肥料の窒素成分量で 10a 当り 4.0 kg 以下 (慣行栽培の 5 割以下) とする。
育苗・田植え	健苗育成を行うため、薄播き (乾粃 100g~120g) とする。 1 株当りの植え付け本数を 3 本~4 本とする。 <b>出穂期の高温障害対策として</b> 出穂の目安を 8 月上旬から中旬におき、 <b>田植え時期は、5 月中旬から 5 月下旬</b> を目途とする。
水管理	除草剤の効果の安定、環境への影響軽減のため散布後 7 日間の止水を行う。過繁茂を防止し稲体の健全化を促すため、間断灌水や中干しなど基本管理を徹底する。また、品質向上を図るため出穂後 25 日~30 日頃まで間断灌水を行い、早期の完全落水をしない。
病害虫防除	畦畔の草刈り等を徹底し、病害虫防除に努める。 農薬を使用する場合は、種子消毒剤、防除剤を含め、プレミアムつや姫栽培暦に基づき薬剤を使用する。なお、指定薬剤以外の薬剤防除が必要な状況が生じた場合は、関係者が協議し、追加防除を行った圃場の米は慣行栽培米の扱いとする。
乾燥・調製	同割れ等の品質低下を防ぐため急激な乾燥は行わず、仕上げ水分は 14.0%~15.0%の範囲で調製する。また、品質確保のため粒選別調製において、 <b>篩目 1.9 mm の網目</b> を使用する。
出荷・検査	プレミアムつや姫は、JA が主体性を持って販売を行うため、飯米を除き、また個別流通米での販売をせずに、全量 JA へ出荷を行う。 プレミアムつや姫の検査日に合わせ出荷し、付加価値向上のための <b>食味 (タンパク値)</b> による仕分け検査を受検する。

※上記の要項により栽培され、検査時において**タンパク値仕分けにより基準を満たす**出荷米を「**雲南市プレミアムつや姫**」として、取扱いを行います。